

第二節 發明、考案、作業等ニ關スル諸法規及實施

第一項 關係法規

明治三十一年四月二十六日達七十二號ニ依リ「艦船機關兵器發明及改良ニ關スル取扱手續」ヲ制定セシハ蓋シ斯種關係規程ノ嚆矢ナリシガ而カモ其ノ内容ニ於テ何等褒賞ニ關スル規定無ク隨時褒賞ニ値ヒスル事項ニ對シテハ機宜若クハ前例ニ依リ實施スルノ實狀ニアリキ尙一般ニ主トシテ褒賞ハ軍屬（技師以下職工等）ニ對シ行ヒ一般軍人特ニ將校ニ對シテハ特ニ顯著ナルモノノ外行ハザル風潮ノ下ニ經過セリ斯クテ大正十年七月ニ及ビ人事局長ヨリ各所轄長ニ對シ左記依命申進ヲ爲セリ

特別賞與具申ニ關スル件

有力ナル發明考案又ハ奇特ノ行爲ニ對シ特別賞與ヲ具申セラルル手續ニ關シテハ從來區々ニ亘リ居候處爾今ハ事由ヲ詳記シ大臣宛進達ノコトト御承知相成度

越ヘテ大正十四年十二月二十日艦本機密第四〇七五號ニ依リ主トシテ職工ニ對スル賞與(賞與加給)審査ノ件ヲ定メ更ニ昭和五年三月一日官房第六百七十八號ニ依リ表彰審査委員會規程ヲ定メ茲ニ始メテ海軍軍人軍屬一般ニ關スル關係法規ノ樹立ヲ見ルニ至レルモノナリ之ガ内容ヲ摘要セバ左ノ如シ

官房第六七八號(昭和五年三月一日)

表彰審査委員會規程

第一條 海軍々々軍屬ノ有力ナル發明考案、奇特行爲等ノ表彰事項審査特ニ規定シアルモノヲ除ク)ノ爲海軍省內ニ表彰審査委員會ヲ置ク

第二條 表彰審査委員會ハ委員長及常任委員及臨時委員ヲ以テ之ヲ組織ス

委員長及常任委員ハ左ノ職員ヲ以テ之ニ充ツ

委員長 海軍省人事局長

常任委員 海軍省軍務局、人事局、經理局、艦政本部、航空本部、海軍々々令部ノ課長、局部員、參謀中ヨリ若干名(略)

臨時委員ハ海軍省、海軍艦政本部、海軍航空本部、海軍々々令部等ノ職員(課長以下)ノ中ヨリ審査事項ニ應ジ其ノ都度委員長之ヲ指定スルモノトス

第三條 表彰審査委員會ニ於テ議決セシ事項ハ之ヲ主務局ニ移スモノトス

「特ニ規定シアルモノヲ除ク」ノ註

一、恩賜研學資金取扱規程

二、下士官兵善行章令

三、海軍檢定褒賞令

四、陸海軍感狀授與規程

五、褒賞條例

六、工務規則

七、地方官公吏其ノ他ノ者ニ海軍々事ニ盡瘁功績者表彰

右規定ノ外大正五年恩賜研學獎金取扱規程ノ發布ヲ見タリ之ガ起源ハ實ニ左記官房號ニ依リ分明ナリ

大正四年五月二十七日官房第一六九八號(海軍大臣ヨリ
各廳長宛)

本日大臣ハ宮中ニ召サレ宮内大臣ヲ經テ別紙ノ通り御沙汰ヲ拜受セリ御思召ノ程洵ニ恐懼感激ニ堪ヘズ謹ミテ傳達ス

(別紙)

一、金五千圓

右明治三十七八年戰役記念ノ恩召ヲ以テ下賜候條海軍將校同相當官學術研鑽ノ資ニ充テラルベク候此ノ段及通報候也

大正四年五月二十七日

海軍大臣 八代 六郎 殿

宮内大臣男爵 波多野 敬 直

右ニ對シ大正五年三月三十一日達第五十一號ヲ以テ恩賜研學資金取扱規程ヲ定メタリ而シテ本規程ハ大正六年達第六〇號大正十年達第百號、大正十二年達第八四號等ノ小改正ヲ經テ今日ニ及ベリ現行條文左ノ如シ

恩賜研學資金取扱規程

第一條 本規程ハ明治三十七、八年戰役記念ノ思召ヲ以テ海軍將校及將校相當官學術研鑽ノ實トシテ下賜セラレタル恩賜金ノ取扱ニ關スル事項ヲ規定ス

第二條 前條ノ恩賜金ハ聖旨ヲ永遠ニ傳フル爲之ヲ恩賜研學資金ト稱シ海軍省經理局ヲシテ保管セシム

第三條 海軍大臣ハ毎年恩賜研學資金利息ヲ以テ優秀ナル作業考案發明ノ提出者ニ授賞ス

第四條 海軍大臣ハ艦隊教育規則ニ據ル甲種作業又ハ之ニ準ズル作業ニシテ所屬長官ノ選拔進達アリタルトキ及艦船機關兵器發明及改良ニ關スル取扱手續ニ依ル考案發明等ノ中海軍將校及將校相當官ノ提出セルモノニシテ海軍艦政本部長ノ選拔進達アリタルトキハ之ヲ恩賜研學資金受賞者詮衡委員ニ附シ審査セシム

第五條 恩賜研學資金受賞者詮衡委員ハ海軍省教育局長及海軍大臣ノ特ニ命ズル海軍士官ヲ以テ編成シ委員長ハ海軍省教育局長ヲ以テ之ニ充ツ

第六條 恩賜研學資金受賞者詮衡委員ハ毎教育年度ノ終ニ於テ第四條ノ作業考案發明ヲ審査ノ上受賞者ヲ決定シ之ヲ作業、考案、發明ニ分チ各順序ヲ附シ翌年四月一日迄ニ海軍大臣ニ報告スベシ

第七條 海軍大臣ハ明治三十七、八年戰役海軍記念日ニ於テ所屬長官ヲ經テ前條ノ決定受賞者中適宜ノ人員ニ對シ賞品及賞狀ヲ授與ス

第八條 所屬長官ハ本規程ニ依ル受賞者ノ履歴書ニ其ノ受賞ニ關スル事項ノ適要ヲ記入シ之ヲ海軍省人事局長ニ通報スベシ

第九條 褒賞ヲ授與スルニ當リ受賞者轉職其ノ他ノ事項ニ依リ其ノ所屬長官ヲ變更セル場合ニハ之ヲ新所屬長官ニ移牒スベシ

第十條 褒賞ヲ受クベキ者ニシテ死亡シタルトキハ其ノ死亡期ガ受賞決定ノ前後ニ拘ハラズ賞品及賞狀ヲ其ノ遺族ニ下附スルコトヲ得

第十一條 賞狀ノ書式ハ別紙ニ依ル(略)